

11月30日(金)

12:00- 受付

総合司会 日根野谷 淳

13:00-13:05 開会の辞 総会長

13:05-13:50 一般演題(1)

座長：秋庭正人(動物衛生研究所)

1. ブロイラー農場および食鳥処理場由来検体におけるカンピロバクター汚染濃度
逸見 仁美、○鈴木直樹、十川一樹、岡村 雅史、胡 東良、北里大・獣医
2. マルチプレックスリアルタイム PCR 法を用いた鶏盲腸便からの *Campylobacter jejuni/ coli* の同時検出
磯村 亮輔、○岡村 雅史、胡 東良、北里大・獣医
3. 牛レバー等内臓肉からのカンピロバクターおよび腸管出血性大腸菌検出状況
○下島優香子、高野智香、猪股光司、井田美樹、西野由香里、黒田寿美代、石塚理恵、横山敬子、高橋正樹、仲真晶子、甲斐明美
東京都健康安全研究センター 微生物部

13:50-14:35 一般演題(2)

座長：天野憲一(秋田大)

4. *Campylobacter jejuni* の胆汁酸抵抗性及び鶏腸管内定着に重要な LOS 糖鎖構造
○岩田剛敏¹、知久和寛^{2,3}、天野憲一⁴、楠本正博¹、秋庭正人¹
¹動衛研、²食総研、³産総研、⁴秋田大
5. 環境水中に存在する *Campylobacter jejuni* に対する分離方法の探索ならびに血清型調査
○浅田安廣¹、大河内由美子²、伊藤禎彦² 京大院・工学研究科¹、京大院・地球環境学堂
6. 乳酸処理による鶏肉のカンピロバクター除菌効果の検討
○和田真太郎¹、森哲也¹、遠山一郎¹、井出新吾²、伊藤武¹
(財)東京顕微鏡院¹、ピューラック・ジャパン(株)²

14:35-14:45 休憩

14:45-16:50 シンポジウム

座長 甲斐明美（東京都健康安全研究センター）

14:45-15:10 朝倉昌博、山崎伸二（大阪府立大学／扶桑薬品工業）

「カンピロバクターの迅速検査法とその応用」

15:10-15:35 横山敬子（東京都健康安全研究センター）

「牛レバ刺し騒ぎとカンピロバクター食中毒 -2012年・東京-」

15:35-16:00 田口真澄（大阪府立公衆衛生研究所）

「大阪府におけるカンピロバクター食中毒の動向および鶏肉からのカンピロバクター検出状況」

16:00-16:25 小野一晃（埼玉県立衛生研究所）

「埼玉県における食鳥肉のカンピロバクター汚染状況と食中毒予防の取り組み」

16:25-16:50 三澤尚明（宮崎大学 農学部）

「食鳥処理場におけるカンピロバクター制御」

16:50-17:00 休憩

17:00-18:00 特別講演 1

座長 山崎伸二（大阪府立大学）

田尻 仁（大阪府立急性期総合医療センター）

「小児の細菌性腸炎の現状と課題について：カンピロバクター腸炎自験例を中心に」

18:30-20:30 情報交換会

スターゲイトホテル関西エアポート 53F 翼の間

12月1日(土)

8:40-9:20 世話人会

9:30-10:15 一般演題(3)

座長:磯部順子(富山県衛生研究所)

7. “カンピロプレストン/225”と“シカイムノテストカンピロバクターⅡ”
を併用したカンピロバクター迅速検査法の有用性

○大石 明、前田詠里子、市原祥子、江藤良樹、濱崎光宏、村上光一、竹
中重幸、堀川和美(福岡県保健環境研究所)

8. カンピロバクターを安価と簡便的に検出する為の検討

○片井敦雄、藺田豊

(株)日本医学臨床検査研究所・地域検査部・和歌山検査課・田辺ラボ

9. 主要な *Campylobacter* 属6菌種を検出、同定するためのPCR-RFLP法の開発
亀井数正^{1,2)}、Srinuan Somroop¹⁾、日根野谷淳¹⁾、朝倉昌博¹⁾、名木田章³⁾、
三澤尚明⁴⁾、松田基夫⁵⁾、中川晋作⁶⁾、○山崎伸二⁷⁾

大阪府大・院・生命環境科学研究科¹⁾、阪大・院・薬学研究科²⁾、水島中央
病院・小児科³⁾、宮崎大学・農学部⁴⁾、麻布大学、生命・環境科学部⁵⁾

10:15-10:25 休憩

10:25-11:25 特別講演2

座長 堀川和美(福岡県環境保健衛生研究所)

五十君静信(国立医薬品食品衛生研究所)

「カンピロバクター標準試験法策定の概要と本菌の制御に関する課題を考える」

11:25-11:55 総会

11:55-12:00 閉会の辞 総会長